

## ◇ 教育委員会

### ◎ 教育総務課

教育政策・人事・総務経理・施設担当が置かれており、職員は課長以下20人である。

事務の分掌は、教育行政の企画・運営、職員の任免・服務、会計年度任用職員の採用、教材・教具等の購入、教育施設の企画・管理に関するものである。

#### 1 予算の執行状況

(単位：円、%)

区 分	予 算 現 額	収 入 済 額 支出負担行為額	収 入 未 済 額 予 算 残 額	対予算 執行率
歳 入	1,694,320,000	1,914,452	1,692,405,548	0.11
歳 出	3,253,749,000	2,227,187,393	1,026,561,607	68.45

歳入は予算現額1,694,320千円に対し、調定額4,826千円、収入済額1,914千円で執行率0.11%となっている。収入未済額の主なものは、市債である。

歳出については、予算現額3,253,749千円に対し、支出負担行為額2,227,187千円で執行率68.45%となっている。

#### 2 事務事業の執行状況

##### (1) 教育委員会運営事業

教育行政の基本方針や重要施策・事項について審議する教育委員会会議(定例会)を毎月1回開催している。また、教育委員会の活動や教育施策について自己点検及び評価を行い、外部有識者による外部評価を受けている。

##### (2) 小中学校管理運営事業

小中学校の施設、設備等の適正な維持管理、児童生徒用机椅子等の管理備品や教材備品等の整備を行っている。また、各学校で執行する予算(旅費、需用費、備品購入費等)を児童生徒数、学級数等に応じて配当している。

##### (3) 小中学校施設整備事業

工事請負費の主な支出状況は、小学校建設費で206,565千円、中学校建設費で65,205千円をそれぞれ支出している。

主な工事等の8月末日までの執行状況は、次のとおりである。

## 【小学校】

(単位：円)

工 事 名	契約金額	支出額
令和4年度 富士市立岩松小学校屋内運動場リニューアル工事	88,000,000	35,200,000
富士川第二小学校歩道橋整備工事	79,312,000	21,640,000
令和4年度 富士市立吉原小学校屋内運動場リニューアル工事	77,330,000	0

## 【中学校】

(単位：円)

工 事 ・ 修 繕 名	契約金額	支出額
令和4年度 富士市立吉原第一中学校屋内運動場リニューアル工事	119,900,000	0
令和4年度 富士市立田子浦中学校校舎1－2号棟外壁改修工事	45,980,000	0
令和4年度 富士市立吉原第三中学校校舎便所改修主体工事	32,549,000	13,010,000

◎ 学校教育課（教育指導室、教育研修センター、特別支援教育センターを含む。）

教職員担当、教育指導室、教育研修センター、特別支援教育センターが置かれており、職員は課長以下92人（うち会計年度任用職員70人）である。

事務の分掌は、教職員の能力開発・勤労意欲の向上、学校への研究支援、児童生徒への学習支援、特別支援教育等に関するものである。

1 予算の執行状況

（単位：円、％）

区 分	予 算 現 額	収 入 済 額 支出負担行為額	収 入 未 済 額 予 算 残 額	対予算 執行率
歳 入	118,387,000	1,768,700	116,618,300	1.49
歳 出	1,212,473,000	953,413,442	259,059,558	78.63

歳入は予算現額118,387千円に対し、調定額・収入済額ともに1,769千円で執行率1.49%となっている。収入未済額の主なものは、国庫支出金である。

歳出については、予算現額1,212,473千円に対し、支出負担行為額953,413千円で執行率78.63%となっている。

2 事務事業の執行状況

(1) 英語教育推進事業

児童生徒の語学指導を行うため、外国人英語指導助手(A L T)20人を小中学校等に派遣している。

(2) 学校図書館教育推進事業

学校司書43人を市内の小中学校に配置し、学校図書システムを利用した蔵書の管理、図書館利用指導、学習サポート等を行うなどの学校図書館教育を推進している。

(3) 生き方支援事業

生き方支援に関わる事業を行うため、生徒指導アドバイザー1人、サポート員12人、スクールソーシャルワーカー4人を配置しているほか、児童の学力を育成するため、教員OBや地域の人材を活用し補足的な学習指導を行う「放課後学習支援ボランティア事業」を全小学校の三年生及び中学校10校を対象に実施している。

(4) 特別支援教育事業

特別支援教育センターでは、特別支援専門相談員、ことばの相談員、社会福祉相談員などの専門職員を配置し、支援が必要な児童生徒への個別指導や訓練、学校や保護者へのサポートや相談業務等を行っている。また、特別支援学級や通常学級に在籍している特別な支援を必要とする児童生徒に対して、特別支援学級サポート員46人、特別支援教育サポート員45人及び特別支援教育学習相談員10人を配置している。

(5) 小中学校 I C T 教育推進事業

情報教育の推進及び情報モラルの育成のため、I C T 支援員10人及びI C T サポート員1人を配置し、教職員のI C T 利活用能力の向上とI C T を活用した授業を支援している。

また、整備済のタブレット端末として小学校9,515台、中学校7,148台のアカウント管理を行うとともに、今年度は小学校一、二年生用タブレット端末4,200台を整備した。

◎ 学務課（富士川学校給食センターを含む。）

学事・保健担当、富士川学校給食センターが置かれており、職員は課長以下25人（うち会計年度任用職員13人）である。

事務の分掌は、通学区域の設定及び改廃、就学援助、学校保健、学校給食、富士川学校給食センターでの給食調理等に関するものである。

1 予算の執行状況

（単位：円、％）

区 分	予 算 現 額	収 入 済 額 支 出 負 担 行 為 額	収 入 未 済 額 予 算 残 額	対 予 算 執 行 率
学 務 課 歳 入	122,936,000	11,644,476	111,291,524	9.47
富士川学校給食 センター歳入	—	—	—	—
学 務 課 歳 出	442,597,000	274,693,734	167,903,266	62.06
富士川学校給食 センター歳出	11,433,000	4,345,941	7,087,059	38.01

歳入について、学務課は予算現額122,936千円に対し、調定額・収入済額ともに11,644千円で執行率9.47%となっている。収入未済額の主なものは、国庫支出金である。なお、富士川学校給食センターの歳入はない。

歳出について、学務課は予算現額442,597千円に対し、支出負担行為額274,694千円で執行率62.06%、富士川学校給食センターは予算現額11,433千円に対し、支出負担行為額4,346千円で執行率38.01%となっている。

2 事務事業の執行状況

(1) 就学援助費支給事務

義務教育の就学が困難な児童生徒の保護者に対し、給食費、学用品費、修学旅行費等の助成を行っている。8月末日までの対象人員は、小学生694人、中学生490人で支出額を項目別に示すと次のとおりである。

(単位：人、円)

区 分	小学校		中学校		合 計	
	人員	金 額	人員	金 額	人員	金 額
新入学児童生徒学用品費	25	1,276,500	26	1,560,000	51	2,836,500
修 学 旅 行 費	3	73,881	42	2,619,114	45	2,692,995
医 療 費	7	24,250	9	56,190	16	80,440
学 用 品 費 等	597	6,664,000	445	8,817,320	1,042	15,481,320
給 食 費	595	25,330,124	441	22,800,110	1,036	48,130,234
宿泊を伴う校外活動費	1	3,600	141	568,176	142	571,776
通 学 費	0	0	0	0	0	0
合 計	—	33,372,355	—	36,420,910	—	69,793,265

(2) 児童・生徒・教職員健康対策事業

学校医 142 人、薬剤師 43 人、結核対策委員 3 人への委嘱や、児童生徒の定期健康診断及び教職員の指定年齢健康診断、日本スポーツ振興センターの災害給付などを実施している。

(3) 学校給食運営事業

学校給食は各小中学校で調理する自校直営方式と、富士川学校給食センターで調理し、旧富士川地区の小中学校へ配送するセンター直営方式で実施している。給食室の衛生管理のための害虫・鼠駆除や、調理従事者の保菌検査、給食備品の修繕などを実施している。

3 特記事項

単位PTA活動事業補助金については、コロナ禍における活動規模縮小などの影響により、一部のPTAで補助金の減額要件である繰越金が多額となり、申請の取り下げなどが行われていた。また、繰越金を少なくするために、高額の物品を購入して学校へ寄附をしているPTAもあり、結果的に補助金額を超える物品の寄附が行われる結果となった。必要性も含めて今後の補助金のあり方を検討されたい。

◎ 社会教育課（青少年教育センター、青少年相談センターを含む。）

社会教育・青少年教育担当、青少年教育センター、青少年相談センターが置かれており、職員は課長以下39人（うち会計年度任用職員20人）である。

事務の分掌は、社会教育の計画・事業、青少年教育指導、青少年相談センターの運営等に関するものである。

1 予算の執行状況

（単位：円、％）

区 分	予 算 現 額	収 入 済 額 支出負担行為額	収 入 未 済 額 予 算 残 額	対予算 執行率
社会教育課歳入	12,266,000	6,110,204	6,155,796	49.81
青少年相談センター歳入	7,836,000	39,300	7,796,700	0.50
社会教育課歳出	140,750,000	96,380,853	44,369,147	68.48
青少年相談センター歳出	50,808,000	20,680,134	30,127,866	40.70

歳入について、社会教育課は予算現額12,266千円に対し、調定額7,780千円、収入済額6,110千円で執行率49.81%となっている。青少年相談センターは予算現額7,836千円に対し、調定額・収入済額ともに39千円で執行率0.50%となっている。収入未済額の主なものは、県支出金である。

歳出について、社会教育課は予算現額140,750千円に対し、支出負担行為額96,381千円で執行率68.48%、青少年相談センターは予算現額50,808千円に対し、支出負担行為額20,680千円で執行率40.70%となっている。

2 事務事業の執行状況

(1) 市民大学の開催

市民大学前期ミニカレッジは、予算額1,048千円を計上し、5月から7月まで6科目の講座を各6回（表現力アップ講座は9回、世界遺産講座は4回）開催した。

また、後期については、9月から10月にかけて各界の著名な有識者、文化人による講演会を全5回開催する予定となっている。

(2) 青少年体験交流事業（キズナ無限∞の島）

本年度は、予算額8,446千円を計上し、8月3日から7日までの期間、宮城県気仙沼市大島で研修を実施する予定となっていたが、新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐため中止となっている。

(3) 雫石町少年交流事業

本年度は、予算額910千円を計上し、7月27日から30日までの期間、雫石町の児童を本市に招待し、自然体験学習、交流事業等を実施する予定となっていたが、新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐため中止となっている。

(4) 少年自然の家管理事業

少年自然の家の運営管理業務は、特定非営利活動法人ホールアース研究所を指定管理者として行われている。本年度は、指定管理料50,564千円を予算計上し、8月末日時点で指定管理料25,282千円を支出している。

(5) 青少年相談事業

本年度は、予算額1,700千円を計上し、青少年相談員11人による来所・通所相談、訪問相談、電話相談「ほっとテレフォン・ふじ」等を実施しており、8月末日時点で、来所・通所相談延べ921人、訪問相談511件、電話相談35件、メール相談1件となっている。また、不登校対策事業として、不登校児童生徒が通う「ステップスクール・ふじ」、保護者教室、不登校等児童生徒対策連絡会などを実施している。

(6) 青少年非行防止事業

本年度は、予算額5,059千円を計上し、指導委員126人によって各種の補導活動を実施している。また、補導措置会議を毎月1回開催し、8月末までの延べ出席人員は115人である。8月末日までの補導活動状況は、次のとおりとなっている。

(単位：回、人、件)

区 分	通常補導	祭典補導	大型店舗補導	合 計
延 べ 回 数	190	2	0	192
延べ出動人員	732	77	0	809
補 導 件 数	52	6	0	58

(7) 子ども・若者育成支援事業

本年度は、予算額11,681千円を計上し、若者相談窓口「ココ☆カラ」の運営のほか、子ども・若者支援協議会、家族会、若者サポーター養成講座等を実施している。8月末日時点で、若者相談窓口「ココ☆カラ」の実績は相談数586件、居場所利用延べ1,270人となっている。



◎ 文化財課（博物館を含む。）

管理・文化財活用担当が置かれており、職員は課長以下17人（うち会計年度任用職員10人）である。また、博物館は、館長以下11人（うち会計年度任用職員5人）である。

事務の分掌は、文化財の保護・整備・啓発、埋蔵文化財の発掘調査、市史の編さん、博物館の維持管理・企画・運営に関するものである。

1 予算の執行状況

（単位：円、％）

区 分	予 算 現 額	収 入 済 額 支 出 負 担 行 為 額	収 入 未 済 額 予 算 残 額	対 予 算 執 行 率
文化財課歳入	29,512,000	2,810,153	26,701,847	9.52
博物館歳入	8,503,000	435,970	8,067,030	5.13
文化財課歳出	104,471,000	55,488,624	48,982,376	53.11
博物館歳出	57,024,000	33,156,787	23,867,213	58.15

歳入について、文化財課は予算現額29,512千円に対し調定額・収入済額ともに2,810千円で、執行率9.52%となっている。収入未済額の主なものは、教育費雑入である。博物館は予算現額8,503千円に対し、調定額439千円、収入済額436千円で執行率5.13%となっている。収入未済額の主なものは、市債である。

歳出については、文化財課は予算現額104,471千円に対し、支出負担行為額55,489千円で執行率53.11%、博物館は予算現額57,024千円に対し、支出負担行為額33,157千円で、執行率は58.15%となっている。

2 事務事業の執行状況

(1) 文化財保護管理事業

文化財を後世に継承するために、文化財の適正管理と調査研究を行っている。文化財愛護意識の醸成を図るため、市民歴史講座を実施したほか、天然記念物樹木8箇所の薬剤散布業務委託及び古墳等史跡8箇所の除草清掃業務委託を実施している。

(2) 緊急発掘調査事業

郷土の貴重な歴史的遺産である埋蔵文化財包蔵地（遺跡）の周知と保存に努め、文化財保護法に基づく保護対策のため開発事業関係者並びに市関係部局との連携のもと、試掘確認調査や本発掘調査を実施するとともに、遺跡の記録保存に努めている。8月末日までに、公共事業、民間開発等の土木工事に伴う緊急発掘確認調査を21件実施している。

(3) 企画展事業

富士山かぐや姫ミュージアムは本市に伝わるかぐや姫物語と富士山信仰を全国に発信するとともに、市民に親しまれ魅力ある博物館とするため、テーマ展や企画展を実施している。

8月末日までの企画展開催状況は、次のとおりである。

事業名	期間	内容
第58回企画展	3/19～6/12	トイレの紙さま ～おしりふきふき いまむかし～
夏のテーマ展	7/2～9/25	東泉院 お宝大発見
共同企画展	7/16～10/2 (三島市郷土資料館)	このへん道中 いまむかし 富士・沼津・三島の観光

◎ 中央図書館（西・東図書館、富士文庫、今泉・田子浦・大淵・富士川分室を含む。）

管理・図書担当が置かれており、職員は館長以下97人（うち会計年度任用職員76人）である。事務の分掌は、図書館事業の総合的企画、図書館資料の館内利用、館外貸出、図書館施設・設備の管理等に関するものである。

1 予算の執行状況 (単位：円、%)

区 分	予 算 現 額	収 入 済 額 支出負担行為額	収 入 未 済 額 予 算 残 額	対予算 執行率
歳 入	51,233,000	574,592	50,658,408	1.12
歳 出	396,303,000	212,796,722	183,506,278	53.70

歳入は予算現額51,233千円に対し、調定額581千円、収入済額575千円で執行率1.12%となっている。収入未済額の主なものは、市債である。

歳出については、予算現額396,303千円に対し、支出負担行為額212,797千円で執行率53.70%となっている。

2 事務事業の執行状況

(1) 閲覧・貸出業務

市内図書館をオンラインで結び、貸出・返却や資料検索のスピードアップを図り、効率的な運営を行うとともに、中央図書館及び西図書館では引き続き平日の開館時間を2時間延長するなど市民サービスの向上に努めている。8月末日までの閲覧、貸出総冊数は760,974冊（AV資料を含む。）、貸出人数は186,034人、新規登録者数は1,411人、レファレンス（相談）件数は14,910件となっている。

(2) 講座・講習会等の開催状況

一般市民や図書館利用者の教育・文化の向上や利用促進を目的に、音訳ボランティア講座、読書感想文講座、わらべうた・手遊び講習会を開催した。今後は、読み聞かせボランティア講座、富士文庫特別コレクション講座、昔話を聞く会等各種の講座、講演会の開催を予定している。

(3) 図書等の状況

令和3年度末時点における図書館の総蔵書冊数は1,107,404冊で、各館別では中央図書館587,292冊、西図書館127,091冊、東図書館71,424冊、富士文庫117,516冊、その他分室等204,081冊である。

◎ 富士市立高等学校

職員は、校長以下110人(うち会計年度任用職員39人)である。

事務の分掌は、学校の運営管理、維持管理、施設の新設、増改築及び廃止に関するものである。

1 予算の執行状況

(単位：円、%)

区分	予算現額	収入済額 支出負担行為額	収入未済額 予算残額	対予算 執行率
歳入	269,024,000	21,774,856	247,249,144	8.09
歳出	333,566,000	186,358,060	147,207,940	55.87

歳入は予算現額269,024千円に対し、調定額22,500千円、収入済額21,775千円で執行率8.09%となっている。収入未済額の主なものは、市債である。

歳出については、予算現額333,566千円に対し、支出負担行為額186,358千円で執行率55.87%となっている。

2 事務事業の執行状況

(1) 高等学校教育推進事業

市立高校独自の教育を推進するため、探究学習やキャリア教育に関する研修を実施して教職員の育成を図っており、8月末までに教員研修セミナーの受講や学術顧問講演会を実施している。また、中学生に対して市立高校の広報活動を行っており、中学生一日体験入学(583人参加)を開催するとともに、学校案内を6,000部制作している。

(2) 高等学校施設管理事業

本年度は、予算151,531千円を計上し、学校施設・設備の安全管理や維持管理を行っている。

主な工事等の8月末日までの執行状況は、次のとおりである。

(単位：円)

工事・修繕名	契約金額	支出額
富士市立高等学校受水槽更新工事	119,900,000	47,960,000
富士市立高等学校便所修繕	10,010,000	0

## ◇ 教育委員会

### ◎ 小学校・中学校

本年度は、第六次富士市総合計画に合わせ、教育課題に適切に対応し教育の質を確保するとともに、行政や学校、地域が協働し、教育活動の充実を図る取組を一体的に推進していくための指針として策定された「第二次富士市教育振興基本計画」の初年度であり、学校教育に関しては「明日を拓く 輝く「ふじの人」づくり」を基本目標とし、「一緒に学ぶ 一生学ぶ」を基本方針としている。

#### 1 予算の執行状況

歳出は、教育総務課からの配当予算額で、それぞれ次のとおり執行されている。

(単位：円、%)

学 校	配当予算額 (各学校運営費)	支出負担行為額	配当予算残額	執行率
岩松小学校	7,551,000	2,519,659	5,031,341	33.37
鷹岡小学校	8,472,000	2,632,782	5,839,218	31.08
丘小学校	9,623,000	4,489,661	5,133,339	46.66
天間小学校	6,004,000	3,291,471	2,712,529	54.82
岩松北小学校	8,788,000	3,546,298	5,241,702	40.35
富士中央小学校	8,249,000	3,750,700	4,498,300	45.47
富士中学校	9,112,000	4,247,506	4,864,494	46.61
岩松中学校	9,206,000	2,414,250	6,791,750	26.22
鷹岡中学校	8,089,000	2,766,800	5,322,200	34.20
岳陽中学校	11,180,000	4,801,288	6,738,712	42.95

#### 2 事務事業の執行状況

市内の小中学校では、心を育む教育の充実を図り、子どもの自己肯定感を高めるとともに、一人一人が安心して自分の思いを語り、学び合うことのできる、魅力ある学校・学級づくりを進めている。また、主体的に学習に取り組むことができるような授業づくりの推進や、指導方法の工夫により、体力・運動能力の向上にも努めている。

そのため児童生徒の安全が保障され、安心して学校生活を送れるよう、適切な学校運営を行うとともに、教育環境の充実に努めている。

### 3 特記事項

P T A等からの備品等の寄附については、ガイドライン等の基準が定められているが、一部の寄附物品において基準で認められていないものが見られたので、適正に処理を行うとともに、運用基準の作成も含め基準に基づく運用を徹底されたい。